

工場で発生する紙容器損紙を段ボールへ再資源化する実証を開始 ～王子ホールディングス、カゴメ、ダイナパックが連携～

王子ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：磯野 裕之、以下「王子HD」）、カゴメ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：奥谷 晴信、以下「カゴメ」）、ダイナパック株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：齊藤 光次、以下「ダイナパック」）の3社は、アルミ付き紙容器の新たなリサイクルシステムの確立に向けて、カゴメ工場で発生するアルミ付き紙容器の損紙を段ボール原紙に再資源化し、カゴメ商品の包装資材として活用する、資源循環モデルの実証を開始したことをお知らせいたします。

本取り組みでは、カゴメ富士見工場で発生したアルミ付き紙容器の損紙を回収し、王子ホールディングスにおいて紙繊維として再資源化します。その後、再生原料を一部に活用した段ボール原紙を製造し、ダイナパックが段ボール製品へ加工します。完成した段ボールは、カゴメ那須工場で製造する「カゴメトマトジュースプレミアム」の包装資材として使用されます。「カゴメトマトジュースプレミアム」は夏季限定の商品で、本商品での活用の実証を通じて、リサイクルシステムの検証を行います。

今回のように、「自社工場で発生したアルミ付き紙容器」の損紙を再資源化し、「自社製品の段ボール」に使用することは、国内初の取り組みです。工場で発生した紙資源を物流資材として再び活用することで、資源循環を推進するとともに、循環型社会の実現への貢献を目指します。



カゴメトマトジュースプレミアム食塩無添加195ml（紙容器）12本入り

■ 実証の背景

近年、循環型社会の実現に向けて、使用済み容器包装の資源循環を促進する取り組みが求められています。一方で、アルミ付き紙容器は紙繊維、ポリエチレン、アルミニウムからなる複合素材で構成されているため、回収・再資源化が難しく、国内における資源としての再利用率は依然として低い水準にあります。

王子HDは、長年にわたり植林による持続可能な森林経営や古紙リサイクルなど、循環型社会の実現に向けた取り組みを進めてきました。現在は、「[Renewa \(リニューワ\)](#)」を通じて、難処理古紙などの資源循環の拡大を推進しています。この度、その一環として、カゴメおよびダイナパックと連携して、カゴメの工場で発生するアルミ付き紙容器の損紙を段ボール原紙として再資源化し、同社の包装資材へ活用する仕組みを構築しました。

■ 実証の概要

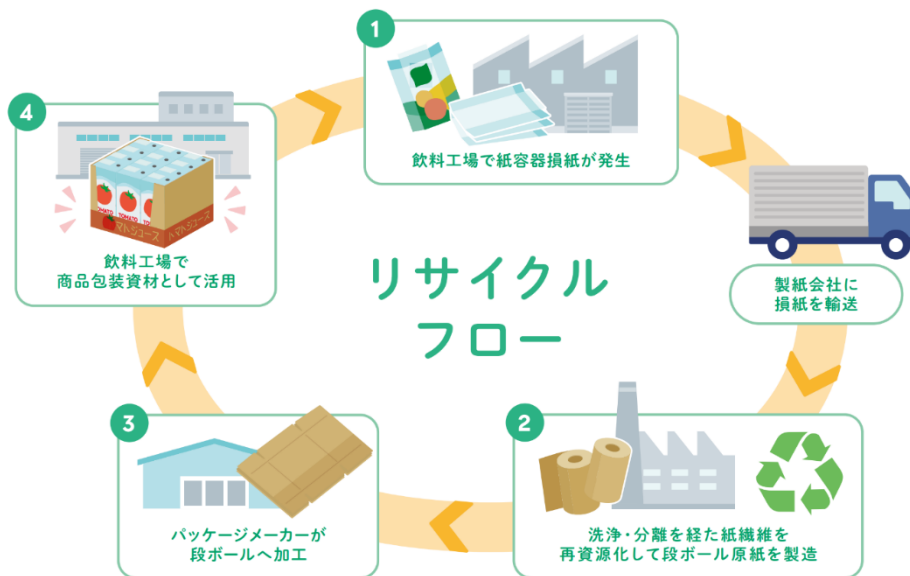
王子HD、カゴメ、ダイナパックの3社が、それぞれの強みを生かし、工場で発生する紙容器損紙を新たな資源として循環させる仕組みを構築し、実証を行います。

(1) 紙容器損紙を再資源化した段ボールを使用する商品

カゴメトマトジュースプレミアム食塩無添加195ml（紙容器）12本入り

※販売期間は2026年8月4日（火）～ （数量限定商品にて、在庫がなくなり次第、販売終了）

(2) リサイクルフローと各社の役割



王子 HD	・洗浄・分離を経た紙繊維を再資源化して段ボール原紙を製造（図②）
カゴメ	・富士見工場が発生する紙容器損紙の排出・回収（図①） ・再生段ボールの利用（図④）
ダイナパック	・リサイクル原紙を活用した段ボール製造（図③）

■各社概要

王子ホールディングス

王子ホールディングス株式会社は、紙・パルプ、包装材、植林など多岐にわたる事業を展開しており、グループ連結子会社は200社以上、従業員数は約39,000名を擁しています。また、国内外に63.6万ヘクタールの社有林を保有・管理しており、森林を健全に育て、その資源を活かした製品を創造し社会へ届けることで、地球温暖化や環境問題の解決に取り組み、希望あふれる未来の実現に向け貢献していきます。

<https://www.ojiholdings.co.jp/>

カゴメ

カゴメ株式会社は、トマト加工品や野菜飲料を中心に展開する総合食品メーカーです。種子開発から栽培、加工、販売までを一貫して手掛ける独自のバリューチェーンを強みとし、日本をはじめ北米・欧州・アジア・豪州でトマト加工事業や業務用食品事業を展開しています。ミッションに「人が自然を、自然が人を豊かにする循環を生み出し続ける」ことを掲げ、2035年のビジョンとして、「農から食にわたる技術革新をリードし、自然の可能性を共に拓く会社」を目指しています。野菜や農業の価値を通じて、人々の健康と持続可能な社会の実現に貢献しています。

<https://www.kagome.co.jp/>

ダイナパック

ダイナパック株式会社は、段ボール、印刷紙器、軟包装材、パルプモールドなど幅広い包装資材を提供する総合包装メーカーです。包装の企画・設計から製造・販売まで一貫して手掛け、食品、飲料、工業製品、ECなど幅広い分野を支えています。国内外のネットワークを活かし、環境に配慮した包装づくりを通じて、お客様の商品価値の向上と持続可能な社会の実現に取り組んでいます。

<https://www.dynapac-gr.co.jp/>

本件に関する問い合わせ先
王子ホールディングス株式会社 https://www.ojiholdings.co.jp/ グループオペレーション本部 リサイクル推進部 TEL : 03-3563-1130 E-mail : ohd.recycling-system@oji-gr.com コーポレートガバナンス本部 広報部 TEL : 03-3563-4523 E-mail : oji-holdings@oji-gr.com